

福祉行政について

柳田 光芳 (公明党)



【電話でお金詐欺の現状と今後の対応について】

問 本市における詐欺被害の状況と高齢者の被害件数は。

答 令和5年度に消費生活センターに寄せられた相談件数は92件、そのうち高齢者は51件で被害額は6,063,829円であった。

問 他の自治体においては高齢者に対し、自動録音機付き電話の無料設置や無償貸し出しなどの取組を行っているが、本市の今後の対応と対策は。

答 高齢者世帯の固定電話に対する防犯支援の予定はないが、各種制度や機器など防犯対策についての周知を図っていきたい。

【軟骨伝導イヤホンの導入について】

問 本庁舎及び各支所における難聴者への対応はどのように行われているか。

答 窓口対応については、顔を近づけてゆっくり話したり、必要に応じて筆談をするなどの対応を行っている。また、福祉課には、マイクで声を拾いスピーカーから届ける難聴者用の対話支援機器を設置している。

問 合理的配慮の提供の観点からも、本庁舎及び各支所において、軟骨伝導イヤホンを導入する必要があると考えるが見解は。

答 効果を検証したうえで、窓口での設置を検討したい。



▲軟骨伝導イヤホン



「人口減少社会への対応」について

五嶋 善彦 (市民クラブ)



問 市長は、入学等祝金支給事業の創設、3歳未満児の保育料無償化等、子育て支援の大きな一歩を踏み出された。出生数の増加は、労働力の確保、社会保障制度の維持など、今後の日本国にとっても極めて重要な喫緊の課題である。今回の取組への市長の思いは。

答 本市の年間出生数が300人台まで低下している中、未来に向かって夢と希望を持てる「宝の島」とするには、子どもを生み育てやすい環境の整備が急務である。



▲多子世帯への支援が望まれる

問 移住定住促進の取組実績、保育園留学の実績と人口減少社会への効果について。

答 累計547世帯、1,027人の移住がっており、県内でもトップクラス。保育園留学については、本年度すでに50組の予約があっている。移住定住の促進は、人口減少の抑制のみならず、地域の担い手確保としての社会的効果、天草の魅力発見など、地域づくりにつながる非常に有効な取組であると感じている。

問 製造業の企業誘致は、物流等、立地条件の弱点から、ICT関連企業の誘致に方向を変え、成功されている。その実績は。

答 令和3年度以降、19社を誘致し、32人の雇用が生まれている。また、天草工業高校情報技術科にCG制作を学べる場を新設し、デジタル人材の育成にも取り組んでいる。



本市の脱炭素の取組について 本市の教育方針について

澤井 一富 (市民クラブ)



【脱炭素の取組について】

問 市民が設置する宅配ボックスについて全国の自治体で導入している「宅配ボックス設置補助事業」は、再配達が必要が無くなりCO₂の削減につながる。宅配ボックスの設置はCO₂削減に有効だが、市としての考えは。

答 宅配ボックスの活用については省エネ行動の一環と考える。今年度実施するアンケート調査に項目を加え、現状を把握していきたい。



【教育方針について】

問 児童生徒の総数は減っているが不登校の数は増え続けている。集団への苦手意識等で通学に不安がある児童生徒が、小規模校へ転校することは容易にできるのか。

答 区域外就学制度の中に「その他特別な理由」がある場合、児童生徒が登校できることを第一に考え、転校を認める制度がある。

要望 本市にはフリースクールが2校あり、多くの児童生徒の不登校改善につながっている。全国的にさまざまな支援をする自治体が増えている状況であり、県の動向を見ながら本市も検討してほしい。また、体験学習は天草の文化歴史に触れるもののほか、天草のすばらしい大自然を生かした学習も取り入れてほしい。



重層的支援体制整備事業について アピアランスケア支援の推進について

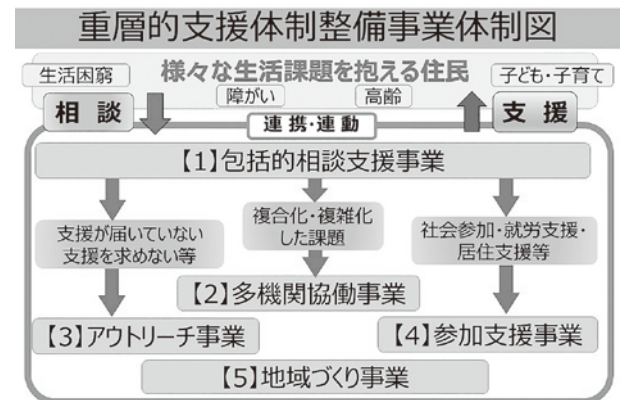
五通 俊作 (公明党)



【重層的支援体制整備事業に 対する本市の対応について】

問 行政と地域住民、関係各団体がつながり支え合う地域共生社会づくりについて市長の考えは。

答 重層的支援体制整備事業により、行政内外の多くの関係者が本事業の意義を共通認識し、これまで実施してきた各種福祉政策のさらなる深化と推進を目指す。行政、地域住民、関係機関が一体となって、市民の皆様が安心して地域で暮らせる体制づくりにつなげたい。



【本市におけるアピアランスケア 支援の推進について】

問 アピアランスケア^(※)助成事業について、対象者も含め本市の考えは。

答 外見変化を補うアピアランスケアにより、経済的負担だけでなく、治療を継続しながら社会生活を送る患者の心理的負担の軽減にもつながると考え、がん患者への支援を実施したい。また、そのほかの疾病によりアピアランスケアを必要としている方の対象についても検討していきたい。

(※)アピアランスケア…疾病や治療によって起こる外見の変化に対して支援すること。